



平成 28 年 5 月号



概 況

最近の県内経済は、個人消費の一部に弱さがみられるものの持ち直し傾向は継続している。

まず個人消費関連では、百貨店・スーパー販売は4ヶ月ぶりのマイナスとなった。自動車販売は、登録車、届出車合計で7ヶ月連続のマイナスとなった。

住宅建設は、貸家、分譲住宅が大幅に増加したほか、持家も増加し2ヶ月連続のプラスとなった。公共投資は、国や市町村の大幅な減少が全体を押し下げ、3ヶ月連続のマイナスとなった。

生産関連では、鉱工業生産指数（季節調整値）は前月比9.2%上昇の113.3と、2ヶ月連続のプラスとなった。県産米2銘柄は前年同月比で大幅上昇した。27年県産リンゴ販売は、県外出荷量は前年を幾分下回ったものの、消費地市場価格が前年を上回り、県外市場販売額は前年比8.8%の増加となった。八戸港の水揚げは、数量、金額ともに増加した。

雇用情勢は、有効求人倍率が前月比で0.02ポイント上昇の1.03倍となった。昭和38年の集計開始以来、最高だった今年1月の1.02倍を0.01ポイント上回り過去最高を更新した。

○個人消費 3月の**百貨店・スーパー販売額**(速報ベース、店舗調整後)は前年同月比2.7%減と4ヶ月ぶりのマイナスとなった。業態別では百貨店が同2.9%減、スーパーは同2.6%減となった。3月の**自動車販売台数**は登録車、届出車(軽自動車)合計が前年同月比5.6%減の7,665台と7ヶ月連続のマイナスとなった。登録車が同0.3%減と3ヶ月連続のマイナス、届出車は同10.8%減と7ヶ月連続のマイナスとなった。

○住宅投資 3月の**新設住宅着工戸数**は全体で前年同月比30.7%増と2ヶ月連続のプラスとなった。持家が同6.0%増、貸家が同82.4%増、分譲住宅が同73.1%増となった。

○公共投資 3月の**公共工事請負額**は、全体で前年同月比22.2%減の69億500万円と3ヶ月連続のマイナスとなった。県が同1.4%増となったものの、国が同27.2%減、市町村が同51.1%減となった。

○一次産業 農林水産省の発表によると、**27年県産米の相対取引価格**(28年3月)は「つがるロマン」が前年同月比23.5%上昇、「まっしぐら」が同21.9%上昇となった。

27年県産リンゴ販売は、3月の県外出荷量が前年同月比1.5%減、消費地市場価格が同10.5%上昇し、県外市場販売額は同8.8%増となった。3月の**八戸港水揚げ**は、数量が前年同月比18.4%増、金額は同2.4%増となった。

○生産活動 2月の**鉱工業生産指数**(季節調整値)は、電気機械、電子部品・デバイス、食料品などが上昇し、前月比9.2%上昇の113.3と2ヶ月連続のプラスとなった。原指数では鉄鋼、パルプ・紙、食料品が上昇し、前年同月比6.4%上昇の102.6と3ヶ月ぶりに前年同月を上回った。

一 次 産 業

米

☆ 「つがるロマン」、「まっしぐら」とも前年同月比大幅上昇続く

農林水産省が発表した「平成 27 産米の相対取引価格（平成 28 年 3 月）」によると、県産米の相対取引価格（玄米 60kg 当たり税込み価格）は「つがるロマン」が前年同月比 23.5%上昇の 1 万 2,075 円、「まっしぐら」は同 21.9%上昇の 1 万 1,833 円となった。

公表された 102 銘柄の平均価格は 1 万 3,252 円となり、前月比 0.1%減少、前年同月比 11.0%上昇となった。価格が最も高かったのは新潟「コシヒカリ（魚沼）」で 2 万 1,115 円であった。前年同月比で見ると、比較可能な 89 銘柄すべてが上昇し、そのうち上昇幅が大きかったのは、群馬「あさひの夢」（32.1%）、埼玉「彩のかがやき」（31.1%）、秋田「めんこいな」（25.7%）などであった。

平成27年産米（東北・北海道主要銘柄）の相対取引価格の推移

（単位：円/玄米60kg税込）

産地	品種	27年9月	27年10月	27年11月	27年12月	28年1月	28年2月	28年3月	前月比	27年3月	前年同月比
青森	つがるロマン	11,697	11,556	11,992	11,595	11,919	12,003	12,075	0.6	9,780	23.5
	まっしぐら	11,210	11,323	11,715	11,510	11,823	11,683	11,833	1.3	9,710	21.9
岩手	ひとめぼれ	13,004	12,954	12,855	12,841	12,895	12,852	13,028	1.4	11,763	10.8
宮城	ひとめぼれ	12,559	12,782	13,168	13,207	12,929	12,946	12,901	-0.3	11,756	9.7
秋田	あきたこまち	12,819	12,805	12,918	13,027	12,821	12,719	12,919	1.6	11,606	11.3
山形	つや姫	18,074	17,946	17,972	17,972	17,636	18,159	18,044	-0.6	16,805	7.4
北海道	ななつぼし	13,356	12,995	13,178	13,017	13,181	13,305	12,836	-3.5	12,250	4.8
北海道	ゆめぴりか	17,080	16,447	16,469	15,073	16,146	17,118	16,355	-4.5	14,036	16.5
全銘柄平均価格		13,178	13,116	13,223	13,245	13,238	13,265	13,252	-0.1	11,943	11.0

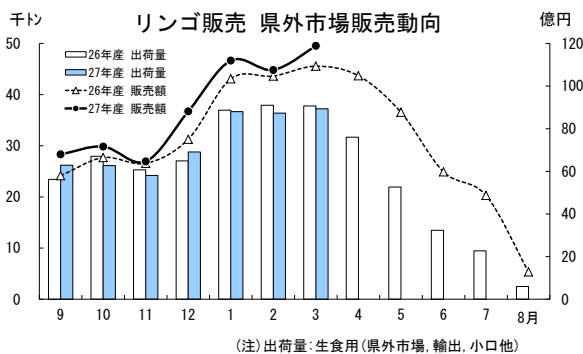
相対取引価格は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格（運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格）を加重平均したもの
資料出所：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

りんご

☆ 県外市場販売額、前年同月比 8.8%増

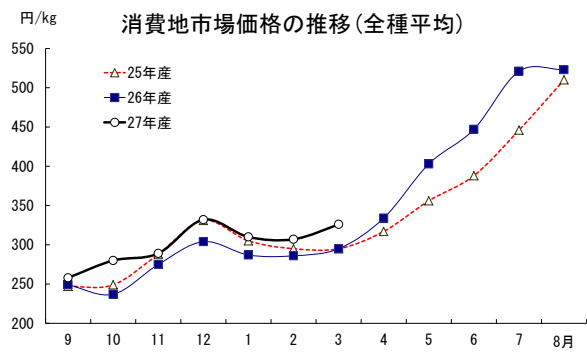
27 年県産りんご販売、3 月の県外出荷量は前年同月比 1.5%減の 3 万 7,231 トンとなった。これは前 3 ヶ年の 3 月平均出荷量を 6.6%上回る水準である。価格面をみると、産地価格は前年同月比 2.0%低下、前 3 ヶ年比較では 13.6%上昇の 201 円/kg となった。一方、消費地市場価格は「ジョナゴールド」が前年同月比 11.3%上昇の 365 円/kg、主力の「ふじ」が同 12.4%上昇の 326 円/kg、合計では同 10.5%上昇、前 3 ヶ年比較で同 18.1%上昇の 326 円/kg となった。この結果、県外市場販売額は前年同月比 8.8%増、前 3 ヶ年比較で同 26.5%増の 118 億 9,300 万円となった。

平成 27 年産県産りんごの消費地市場価格は、競合果実が品薄のなか産地取引の終盤を迎え、今後の品揃え確保のため引き合いが強く、価格は高値基調で推移した。



資料出所：県りんご果樹課

（注）出荷量：生食用（県外市場、輸出、小口他）



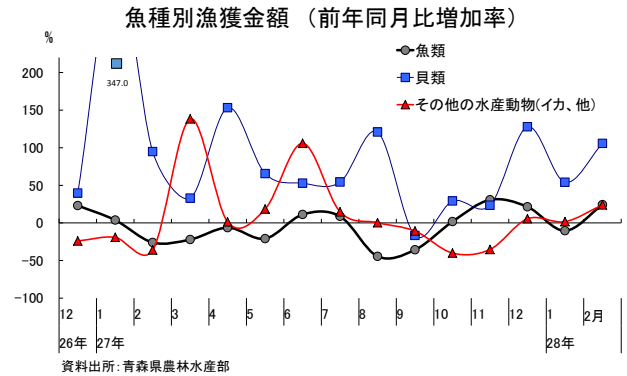
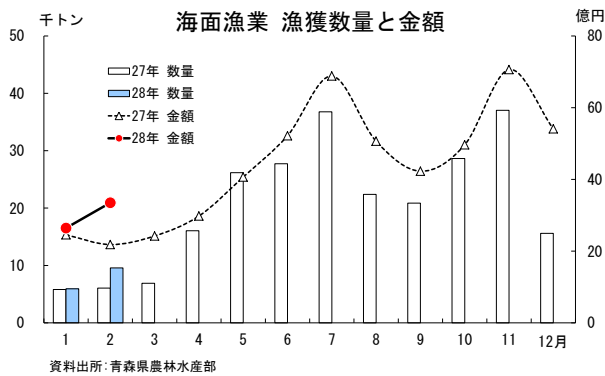
資料出所：県りんご果樹課

海面漁業

☆ 2月の海面漁業、漁獲数量、漁獲金額とも増加

2月の本県海面漁業は、漁獲数量が前年同月比57.9%増の9,575トン、漁獲金額が同53.4%増の33億4,896万円となった。これは前年同月に比べ、ホタテガイ（成貝）、タラ等の漁獲数量が増加したことによる。

魚種別にみると、「魚類」は、タラ、スケトウタラが大幅に増加し、数量が前年同月比82.6%増の2,681トン、金額は同24.3%増の7億7,415万円となった。「貝類」はホタテガイ（成貝）の水揚げが大幅に増加し、数量が同62.5%増の5,486トン、金額は同105.7%増の16億1,416万円となった。「その他の水産動物」はヤリイカが減少したものの、スルメイカ（近海・生、船凍）が大幅に増加し、数量が同15.7%増の1,397トン、金額は同24.0%増の9億5,462万円となった。



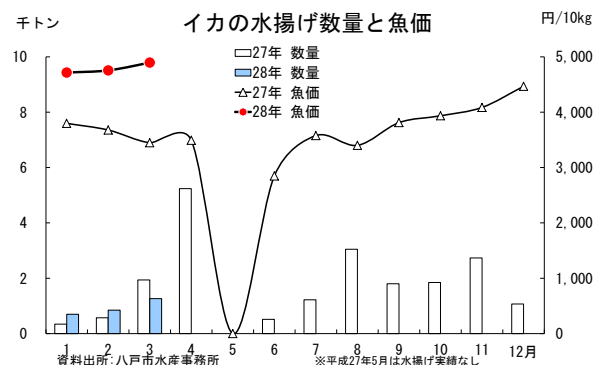
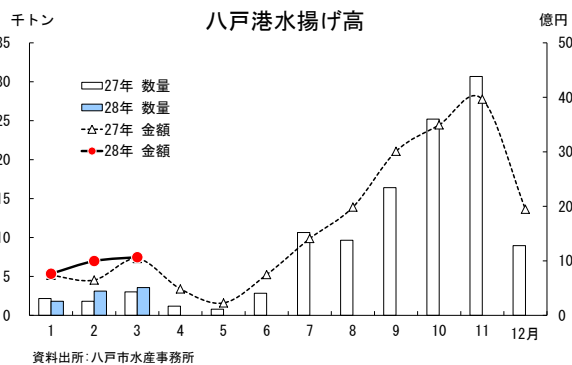
八戸港水揚げ

☆ 3月水揚げ、数量18.4%増、金額2.4%増

3月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比18.4%増の3,575トン、金額は同2.4%増の10億6,682万円となった。

イカ釣り漁は、日本海山陰沖などで船凍スルメイカ漁を展開したが同月上旬には終了した。前年は3月にずれ込んだ水揚げが今年は2月に集中したため、数量は前年同月比34.8%減の1,265トン、金額は同7.4%減の6億1,931万円と数量、金額とも前年実績を下回った。

大中型旋網漁は、八戸港への水揚げはなかった。機船底引き網漁は、魚群に恵まれ、数量が前年同月比137.9%増の1,896トン、金額は同29.3%増の3億4,890万円と数量、金額ともに前年を大幅に上回った。



二次産業

鉱工業生産

☆前月比 9.2%上昇、2ヶ月連続のプラス

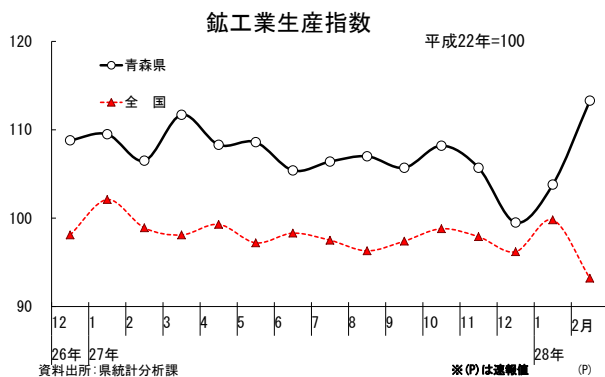
2月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、平成22年=100)は前月比9.2%上昇の113.3と2ヶ月連続のプラスとなった。

主要6業種をみると、鉄鋼が前月比7.0%減、業務用機械が同0.5%減とそれぞれ低下したものの、電気機械が同16.2%増、電子部品・デバイスが同7.0%増、食料品が同6.3%増、パルプ・紙が同4.9%とそれぞれ上昇した。

原指数で前年同月と比較すると、電気機械、業務用機械、電子部品・デバイスが低下したものの、鉄鋼、パルプ・紙、食料品が上昇し、前年同月比6.4%上昇の102.6と3ヶ月ぶりに前年同月を上回った。

業種別生産指数(平成28年2月)

業種 ()内は一万分比ウェイト	季節調整済指数		原指数	
	平成22年=100	前月比(%)	平成22年=100	前年同月比(%)
鉱工業 (10,000.0)	113.3	9.2	102.6	6.4
食料品 (2,410.0)	110.3	6.3	99.3	7.4
鉄鋼 (1,200.9)	107.0	△7.0	98.2	28.2
電子部品・デバイス (1,048.2)	136.8	7.0	122.5	△13.1
業務用機械 (1,005.1)	97.8	△0.5	98.4	△14.7
パルプ・紙 (722.3)	96.5	4.9	90.4	7.7
電気機械 (429.2)	102.4	16.2	89.5	△22.2



資料出所: 県統計分析課

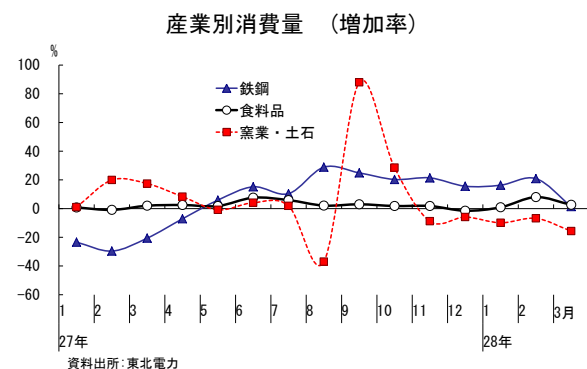
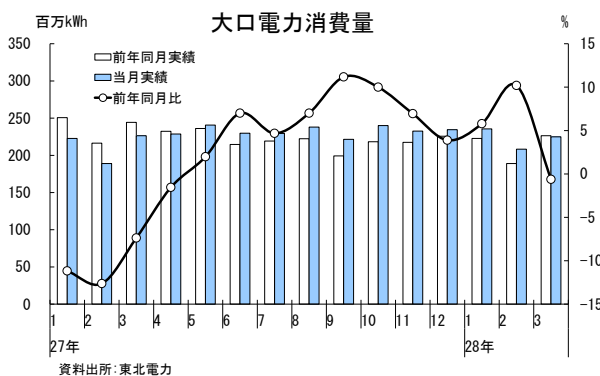
大口電力

☆前年同月比 0.6%減、11ヶ月ぶりにマイナス

3月の県内大口電力消費量は、前年同月比0.6%減の2億2,498万kWhとなった。うち製造業は同1.1%減の1億5,969万kWhとなった。

製造業の大口電力消費量を主要業種別にみると、窯業・土石が同15.7%減、紙・パルプが同5.7%減、機械が同5.0%減などとなった。一方、非鉄金属が同4.2%増、食料品が同2.6%増、化学が同2.2%増、消費ウェイトの高い鉄鋼が同1.4%増などとなった。

当月の県内大口電力消費量は、製造業で、海外経済の減速の影響や、原料の価格下落による生産調整の影響がみられ、全体では11ヶ月ぶりに前年実績を下回った。



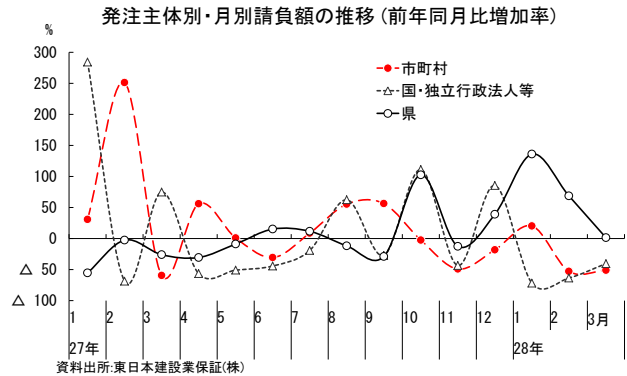
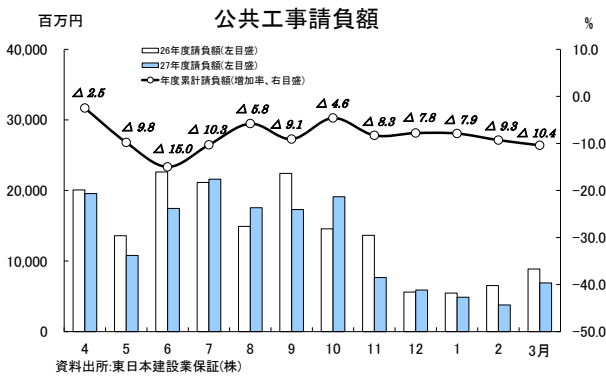
公共工事

☆ 前年同月比 22.2%減、3ヶ月連続のマイナス

3月の東日本建設業保証（株）の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比 22.2%減の 69 億 500 万円と大幅に落ち込み、3ヶ月連続のマイナスとなった。

当月の請負額は、国が、防衛省、農林水産省で増加したものの、国土交通省で大幅に減少し同 27.2%減の 28 億 800 万円となった。独立行政法人等は、実績はなかった。県は、農林水産部などで増加し、同 1.4%増の 36 億 9,200 万円となった。市町村は、全体で著しい減少となり、同 51.1%減の 2 億 1,000 万円となった。

当月は、国や市町村の大幅な減少が全体を押し下げ、前年実績を下回った。



住宅着工

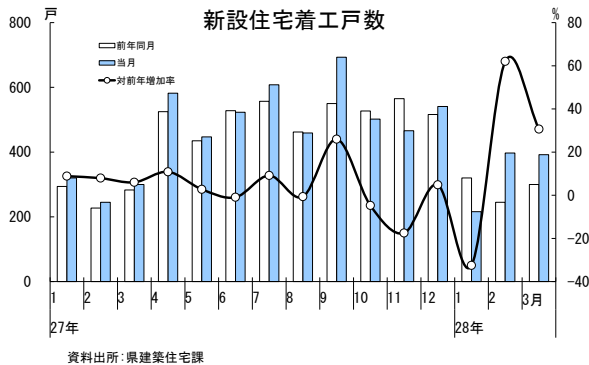
☆ 前年同月比 30.7%増、2ヶ月連続のプラス

3月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比 30.7%増の 392 戸と 2ヶ月連続のプラスとなった。利用関係別では、持家が同 6.0%増、貸家が同 82.4%増、分譲住宅が同 73.1%増となった。

地域別にみると、全体では、黒石市、十和田市、むつ市、つがる市、平川市、郡部で減少したものの、青森市、弘前市、八戸市、五所川原市、三沢市で増加した。

持家は、青森市、十和田市などで減少したものの、八戸市、弘前市、五所川原市などで増加した。貸家は、むつ市、弘前市などで減少したものの、青森市、八戸市などで増加した。分譲住宅は、八戸市、三沢市で増加した。

当月の新設住宅着工は、持家、貸家、分譲住宅とも好調で、前年実績を大幅に上回った。



利用関係別戸数

(単位: 戸, %)

	28年 3月	27年 3月	前年 同月比
持家	212	200	6.0
貸家	135	74	82.4
給与住宅	0	0	-
分譲住宅	45	26	73.1
総戸数	392	300	30.7

資料出所: 県建築住宅課

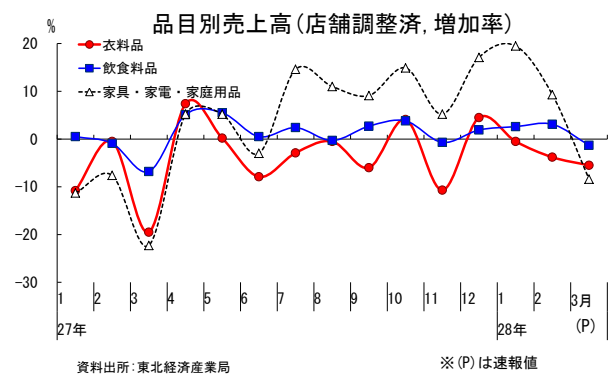
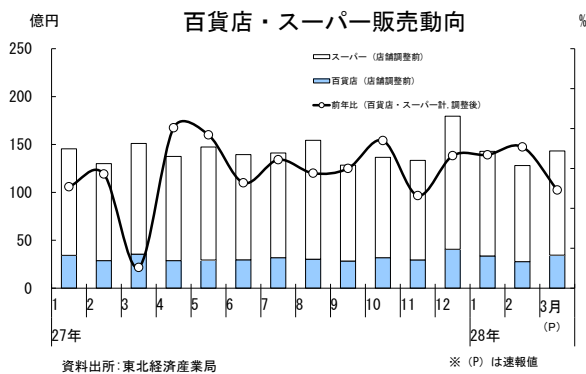
三 次 産 業

百貨店・スーパー販売

☆前年同月比 2.7%減、4ヶ月ぶりマイナス

3月の県内百貨店・スーパー販売額(速報ベース、店舗調整後)は、前年同月比 2.7%減と4ヶ月ぶりのマイナスとなった。業態別では百貨店が同 2.9%減、スーパーが同 2.6%減となった。

品目別では、衣料品が同 5.5%減、ウエートの高い飲食料品が同 1.3%減、家具・家電・家庭用品が同 8.4%減となった。衣料品は、春物のコートなどが順調だったものの、フレッシュヤーズやフォーマル商品が伸び悩み、前年を下回った。飲食料品は、惣菜などに動きがみられたものの、生鮮品がふるわず前年を下回った。家具・家電・家庭用品は、家具は、新生活需要が堅調に推移しているとみられ、パイプベッド、寝具類、カーテンなどが好調だった。家電製品は、新生活需要により小型サイズのテレビ、冷蔵庫などに動きがみられた。

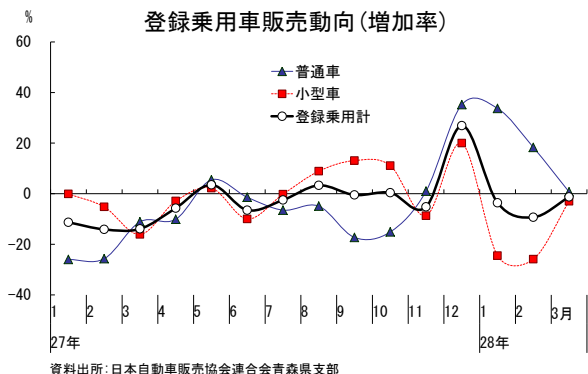
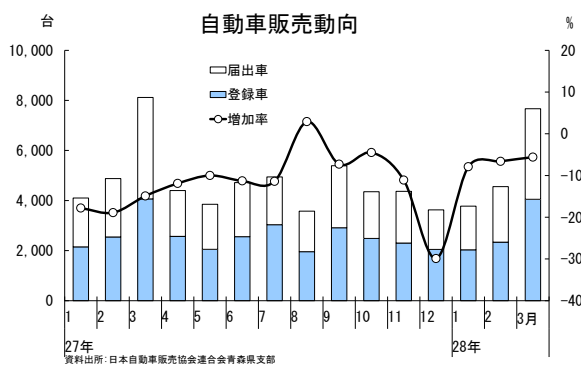


自動車販売

☆前年同月比 5.6%減、7ヶ月連続のマイナス

3月の自動車販売台数は、登録車、届出車(軽自動車)合計で前年同月比 5.6%減の 7,665 台と落ち込んだ。内訳別にみると、登録車は普通乗用車が同 0.7%増となったものの、小型乗用車が同 3.0%減、貨物車が同 2.3%減となり、登録車合計では同 0.3%減の 4,052 台と3ヶ月連続のマイナスとなった。届出車は乗用車が同 13.4%減、貨物車が同 1.3%減となり、届出車合計では同 10.8%減の 3,613 台と7ヶ月連続のマイナスとなった。届出車を含む乗用車については、登録乗用車合計が同 1.3%減となり、全体では同 7.2%減と7ヶ月連続のマイナスとなった。

当月の自動車販売は、登録車、届出車ともに減少し、7ヶ月連続のマイナスとなった。



物価・雇用・金融

消費者物価指数

☆前月比横ばい、前年同月比 0.5%低下の 102.5

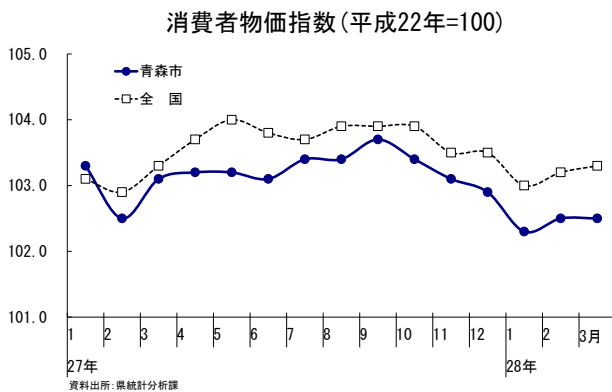
3月の青森市の消費者物価指数(平成22年=100)は前月比横ばい、前年同月比0.5%低下の102.5となった。主要費目別に前月と比べると、「教養娯楽」が教養娯楽用品の値上がりにより、「家具・家事用品」が家事雑貨等の値上がりによりそれぞれ0.5%上昇した一方、「交通・通信」がガソリンの値下がりにより1.0%低下するなど、上昇と低下が混在した。

前年同月との比較では、「教養娯楽」(3.0%)や「食料」(2.5%)などが上昇した一方、「光熱・水道」(△13.8%)と「交通・通信」(△2.8%)が下落した。

なお「生鮮食品を除く総合指数」は、前月比横ばい、前年同月比0.8%下落の101.5となった。

費目別指数の動き(平成28年3月)

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	102.5	0.0	△ 0.5
食料	107.6	0.1	2.5
住居	100.5	0.0	1.1
光熱・水道	100.2	△ 0.3	△ 13.8
家具・家事用品	92.8	0.5	1.8
被服及び履物	103.2	0.2	0.0
保健医療	100.4	0.0	0.6
交通・通信	100.3	△ 0.6	△ 2.8
教育	100.9	0.0	0.9
教養娯楽	98.2	0.5	3.0
諸雑費	110.0	△ 0.1	1.3



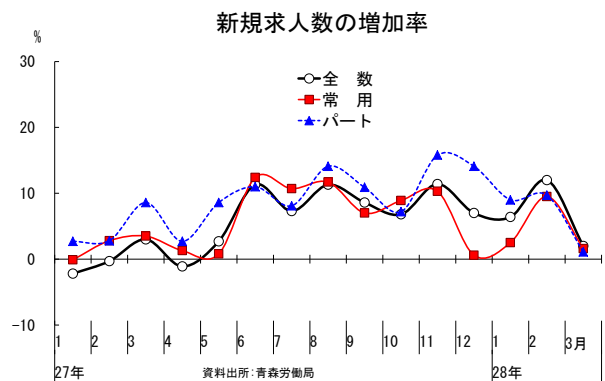
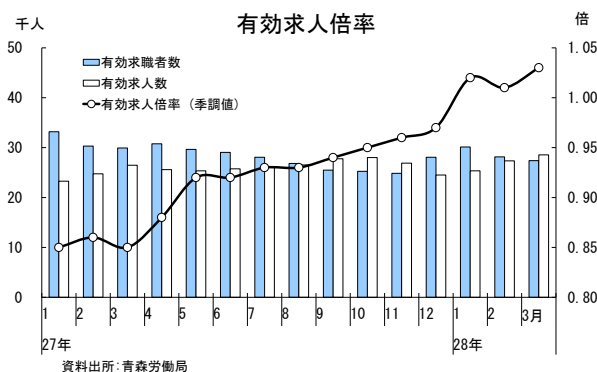
資料出所: 県統計分析課

雇用動向

☆有効求人倍率、過去最高の 1.03 倍、3ヶ月連続 1 倍超え

3月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比7.9%増の2万8,543人、有効求職者数は同8.5%減の2万7,393人となった。新規求人の動きをみると、常用求人数が前年同月比1.6%増、臨時・季節求人数が同10.9%増、パート求人数が同1.1%増となり、全数では同2.0%増の11,000人となった。主要産業別の新規求人動向を前年同月比でみると、宿泊業、飲食サービス業、建設業、製造業などで減少したものの、サービス業、卸売・小売業、生活関連サービス業、娯楽業、医療、福祉などで増加した。

県内の雇用状況は、有効求人倍率が先月比で0.02ポイント上昇の1.03倍となり、過去最高だった今年1月の1.02倍を0.01ポイント上回り過去最高を更新した。3ヶ月連続の1倍超えであり、県内の雇用環境は改善が続いている。



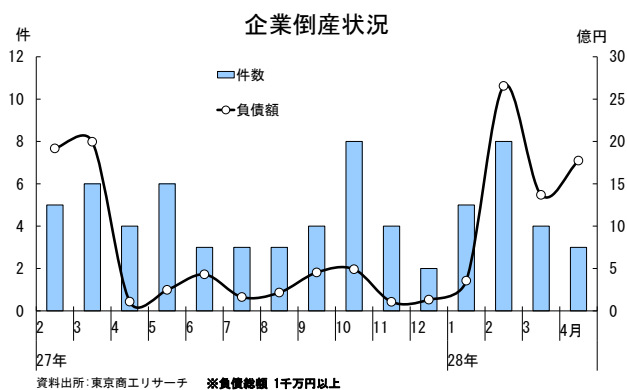
企業倒産

☆前年同月比、倒産件数 1 件減、負債総額 16 億 6,500 万円増

4月の県内企業倒産は、件数が前年同月比で1件減の3件、負債総額は同16億6,500万円増の17億7,300万円となり、件数は2ヶ月連続で前年を下回ったものの、負債総額は再び前年を上回った。前月比では件数が1件減、負債総額は4億400万円減となった。業種別では、建設業、製造業、サービス業他が各1件となった。地域別では、弘前市、十和田市、上北郡で各1件の発生となった。原因別では、3件とも販売不振だった。

県内の企業倒産件数は、引き続き一桁台と小康状態が続き、倒産件数は前年同月を下回ったものの、負債総額は10億円を超える大型倒産が発生し前年同月を大幅に上回った。この結果、負債総額の10億円越えは3ヶ月連続となった。

なお、当月の従業員被害者は35名であり、1月からの年間累計で130名となった。



業種別・原因別件数 (平成28年4月)

業種	件数	原因	件数
一次産業・鉱業		放漫経営	
建設業	1	過小資本	
製造業	1	他社倒産の余波	
卸売業		既往のシワ寄せ	
小売業		信用低下	
金融・保険業		販売不振	3
不動産業		売掛金回収難	
運輸業		在庫状況悪化	
情報通信業		設備投資過大	
サービス業 他	1	その他	
合計	3	合計	3

資料出所: 東京商工リサーチ (負債総額1千万円以上)

金融動向

☆2月末の貸出約定金利、総合で 1.429%

2月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高(速報値)は、実質預金が前年同月比0.7%増の4兆9,042億円、貸出金は同3.0%増の2兆8,274億円とそれぞれ増加した。

2月の県内金融機関の貸出約定平均金利(銀行・信用金庫の加重平均)は、月末水準で長期金利が1.395%、短期金利が2.067%、総合で1.429%となった。

前月比で長期金利が0.002ポイント低下、短期金利が0.034ポイント低下、総合では0.001ポイント低下した。長期金利は低下が続いているが、短期金利は再び低下した。

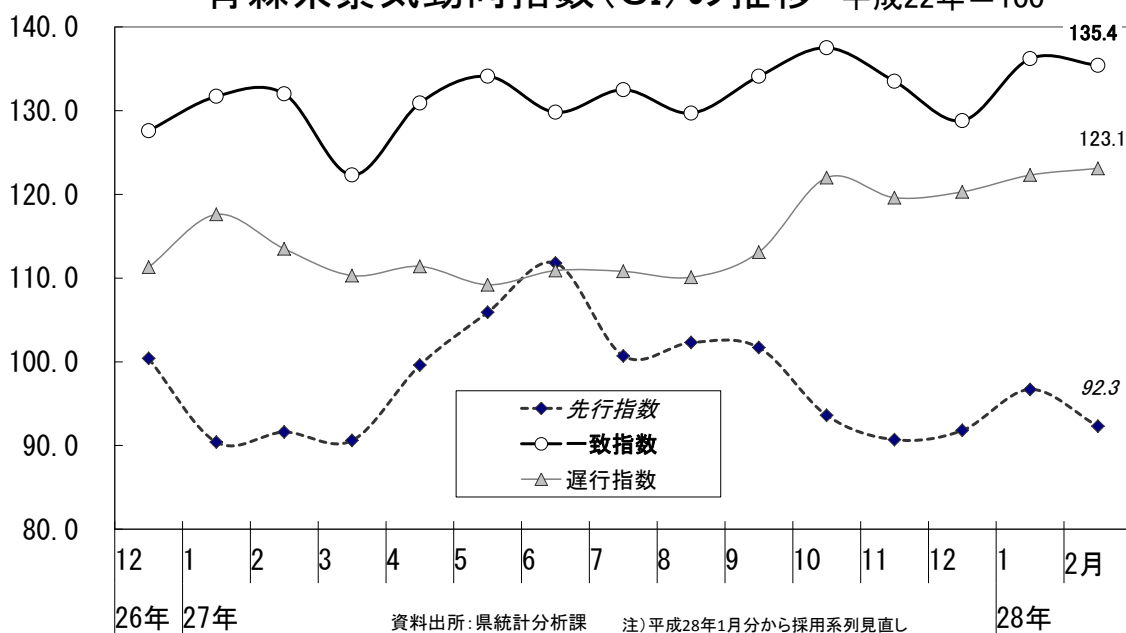
貸出約定金利の前月比推移

	総合	(%ポイント)	
		長期	短期
26年 10-12	▲ 0.028	▲ 0.033	▲ 0.024
27年 1-3	▲ 0.034	▲ 0.030	▲ 0.090
4-6	▲ 0.041	▲ 0.040	0.059
7-9	▲ 0.012	▲ 0.014	▲ 0.025
10-12	▲ 0.026	▲ 0.029	▲ 0.039
27年 11	▲ 0.003	▲ 0.004	▲ 0.003
12	▲ 0.016	▲ 0.017	▲ 0.023
28年 1	▲ 0.008	▲ 0.006	0.009
2	▲ 0.009	▲ 0.008	▲ 0.025
2月末水準(%)	1.429%	1.395%	2.067%

資料出所: 日本銀行青森支店

青森県景気動向指数

青森県景気動向指数(CI)の推移 平成22年=100



一致指数 採用系列の寄与度

上段: 寄与度がプラスを○、マイナスを●で表示
下段: 寄与度

採用系列名	27年	10月	11月	12月	28年	2月
	9月				1月	
1. 百貨店・スーパー販売額(既存店)	○ 0.22	○ 1.57	● △ 3.26	○ 2.06	○ 0.12	● △ 0.41
2. 旅行取扱高	○ 1.15	○ 0.12	● △ 1.67	○ 1.04	○ 1.63	● △ 2.95
3. 鉱工業生産指数	● △ 0.52	○ 0.96	● △ 1.00	● △ 2.44	○ 1.74	○ 2.85
4. 投資財生産指数	● △ 1.85	● △ 0.42	○ 0.77	● △ 1.64	○ 2.38	○ 1.69
5. 有効求人倍率(全数)	○ 0.12	○ 0.13	○ 0.13	○ 0.14	○ 3.61	● △ 1.70
6. 輸入通関実績(八戸港)	○ 2.37	○ 1.15	○ 0.59	● △ 2.40	● △ 0.92	● △ 0.54
7. 所定外労働時間指数(全産業)	○ 2.87	● △ 0.02	○ 0.40	● △ 1.43	● △ 1.21	○ 0.25

資料出所: 県統計分析課

※ 景気動向指数 (CI: Composite Index) とは

1. 前月と比較した採用系列の変化量を合成し、基準年度を100として指数化したもので、景気に敏感な指標の量的な動きを合成した指標である。CIには次の3指数がある。

- 先行指数・・・景気に先行して動くことから景気の動きの予測に利用
- 一致指数・・・景気とほぼ一致して動くことから景気の現状把握に利用
- 遅行指数・・・景気に遅れて動くことから事後的な確認に利用

2. CIは景気変動の大きさ(景気の山の高さや谷の深さ)やテンポ(景気の拡張や後退の勢い)を測定する。CIが上昇している時が景気の拡張期(好況)であり、低下している時が景気の後退期(不況)である。

国内景気

☆概況

国内景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が継続。個人消費は消費者マインドに足踏みがみられるなか、おおむね横ばい。設備投資は持ち直しの動きがみられる。輸出はおおむね横ばい。生産は横ばい。企業収益は非製造業を中心に改善傾向。業況判断は、慎重さがみられる。雇用情勢は改善している。消費者物価は、緩やかに上昇している。

☆百貨店・スーパーの動向（既存店ベース）

—前年同月比 1.2%減—

3月の百貨店・スーパー販売額は前年同月比 1.2%の減少となった。業態別にみると、百貨店が同 2.8%減、スーパーは同 0.3%減となった。商品別にみると、衣料品が同 6.4%減、飲食料品が同 0.9%増、その他商品が同 1.0%減となった。

☆住宅建設

—前年当月比 8.4%増、3ヶ月連続のプラス—

3月の新設住宅着工戸数は、前年同月比 8.4%増の 7万 5,744 戸と 3ヶ月連続のプラスとなった。利用関係別では、持家が同 4.3%増、分譲住宅は同 26.0%増とそれぞれ 2ヶ月連続の増加となったほか、貸家が同 1.1%増と 5ヶ月連続の増加となるなど全体的に増加した。

☆企業倒産

—件数、負債総額、ともに再び減少—

3月の企業倒産は、件数が前年同月比 13.2%減の 746 件、負債総額は同 21.3%減の 1,759 億円。倒産件数、負債総額ともに再び減少。3月としては件数が 25年ぶりに 800 件を割り込んだほか、負債総額は負債 10 億円以上の大型倒産が 29 件に止まり、5ヶ月ぶりに前年同月を下回った。

☆為替動向

—4月末終値 108 円 39 銭—

4月の東京為替市場は前月末から反発、112 円台前半でスタート。上旬は米国の利上げペースが緩やかになるとの観測などから約 1年 5ヶ月ぶりに 108 円台まで円高が進んだ。中旬は日経平均株価や原油先物相場の上昇などから 109 円台後半まで円安が進んだ。下旬は日銀の追加金融緩和観測などから 111 円台まで円安が進むも現状維持決定が伝えられ急反発した。月末終値は 108 円 39 銭。

☆鉱工業生産指数

—前月比 3.6%上昇、再び上昇—

3月の鉱工業生産指数は前月比 3.6%上昇の 96.6(季節調整値)と再び上昇した。輸送機械、はん用・生産用・業務用機械、金属製品などが上昇し、情報通信機械、窯業・土石製品、石油・石炭製品などが低下した。4月は、輸送機械、電子部品・デバイス、化学などの上昇により前月比 2.6%上昇を予測。

☆新車販売（除く軽自動車）

—前年同月比 3.2%減、2ヶ月連続のマイナス—

3月の国内新車販売は前年同月比 3.2%減の 40万 4,813 台と 2ヶ月連続のマイナスとなった。乗用車が同 2.7%減、貨物車は同 6.3%減となった。乗用車は普通乗用車が同 1.8%減と 5ヶ月ぶりのマイナス、小型乗用車は同 3.6%減と 5ヶ月連続のマイナスとなった。

☆完全失業率

—前月比 0.1 ポイント低下の 3.2% —

3月の完全失業率は前月比 0.1 ポイント低下の 3.2%となった。完全失業者数は前年同月比 12 万人減の 216 万人となり、70ヶ月連続で減少した。求職理由別にみると、自己都合が前年同月比 3 万人減の 82 万人、勤め先や事業の都合が同 7 万人減の 37 万人などとなった。

☆消費者物価指数

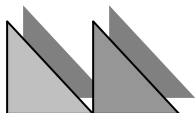
—前月比 0.1%上昇の 103.3—

3月の全国消費者物価指数(2010年=100)は前月比 0.1%上昇、前年同月比 0.1%下落の 103.3 となった。前月に比べ、被服及び履物や、教養娯楽などが上昇した。生鮮食品を除く総合指数は、前月比 0.1%上昇、前年同月比 0.3%下落の 102.7 となった。

☆国際収支

—経常収支、21ヶ月連続で黒字—

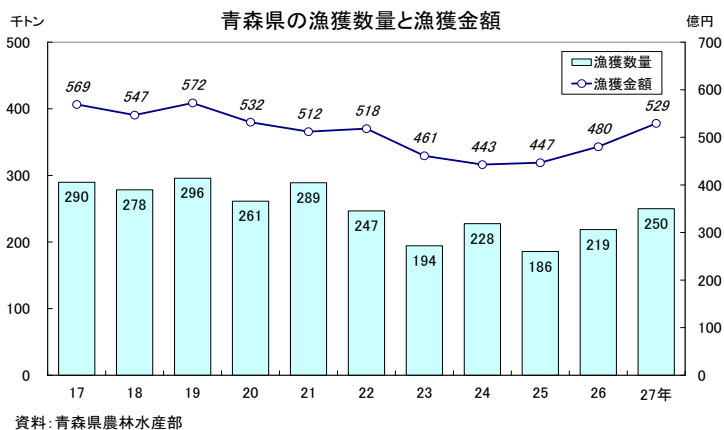
3月の経常収支額は前年同月比 1,934 億円増(6.9%増)の 2兆 9,804 億円と 21ヶ月連続で黒字となった。前年同月比では黒字幅が拡大した。貿易・サービス収支が、旅行収支の改善などにより黒字幅を拡大したこと等が寄与した。内訳は、第一次所得収支が 2兆 1,317 億円の黒字、貿易・サービス収支が 1兆 1,701 億円の黒字、第二次所得収支が 3,215 億円の赤字となった。



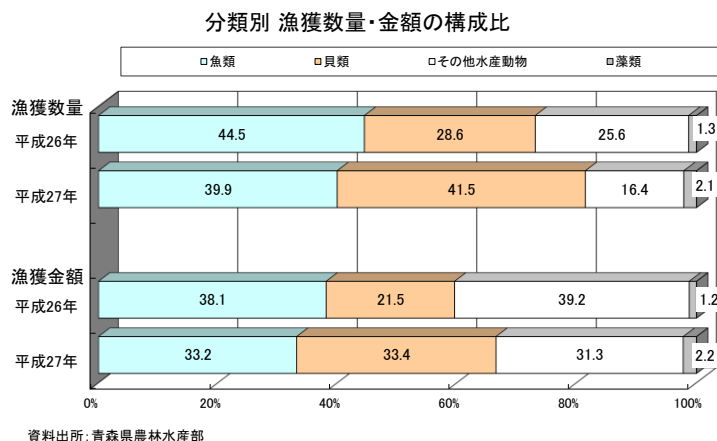
今月の統計

平成27年の青森県の漁獲数量・金額

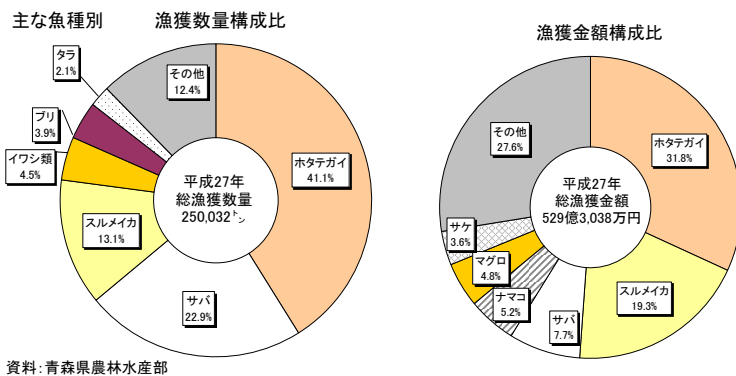
青森県農林水産部がまとめた「青森県海面漁業に関する調査結果書」によると、平成27年の本県の漁獲数量は前年比14.4%増の25万32トとなり、漁獲金額は同10.2%増の529億3,038万円と、ともに前年を上回った。これは、数量が、「ホタテガイ（半成貝／新貝／成貝）」、「サバ」等の増加、金額は、「ホタテガイ（半成貝／新貝／成貝）」、「ブリ」等の増加による。



魚類、貝類等の分類別に構成比をみると、漁獲数量はホタテガイ等の「貝類」が41.5%（10万3,786ト）で最も多く、次いでサバ等の「魚類」が39.9%（9万9,790ト）、イカ類等の「その他水産動物」が16.4%（4万1,128ト）、「藻類」が2.1%（5,327ト）の順となった。一方、漁獲金額は「貝類」が33.4%（176億5,577万円）で最も多く、次いで「魚類」が33.2%（175億5,797万円）、「その他水産動物」が31.3%（165億7,107万円）、「藻類」が2.2%（11億4,556万円）の順となった。平成27年はホタテガイが増加し、数量、金額とも「貝類」のシェアが拡大し、「魚類」、「その他の水産物」を抑え、いずれもトップとなった。



主な魚種別の構成比をみると、漁獲数量は、「ホタテガイ」が41.1%で最も多く、次いで「サバ」が22.9%、「スルメイカ」が13.1%、「イワシ類」が4.5%などと続いた。一方、漁獲金額は「ホタテガイ」が31.8%で最も多く、次いで「スルメイカ」が19.3%、「サバ」が7.7%、「ナマコ」が5.2%などと続いた。



県内

1日 平成28年度の県内初期臨床研修医、過去2番目の83人

県がまとめた平成28年度の初期臨床研修医採用状況によると、医学部を卒業し、4月から青森県内の14病院で初期臨床研修を受ける研修医は83人となり、過去最多だった前年度の93人に次いで2番目の多さとなった。

4日 平成27年度県内企業倒産、件数・負債総額とも前年度比減少

東京商工リサーチ青森、八戸両支店が発表した平成27年度県内企業倒産状況(負債額1千万円以上)によると、倒産件数は前年度比15件減の54件、負債総額は同51億5,000万円減の67億2,400万円となった。

16日 弘前公園、準まつり体制スタート

弘前公園の桜(ソメイヨシノ)の早咲きに対応した弘前さくらまつりの準まつり体制がスタートした。まつり本部発表によると初日は2万人が来場した。

17日 県内各地、暴風被害発生

県内各地は発達した低気圧の影響で午後から暴風が吹き荒れた。最大瞬間風速は八戸市で34.2㍎、深浦町で33.1㍎、弘前市で31.4㍎などを記録。延べ1万戸以上が停電し、建物の屋根が飛ばすなどの被害が発生した。また、鉄道や空、海の便にダイヤの乱れが生じた。

国内

7日 日銀、東北地域の景気判断を引き下げ

日本銀行は4月の地域経済報告(さくらリポート)を発表し、全国9地域のうち東北地域の景気判断を「新興国経済の減速に伴う影響などから生産面で弱含んだ状態が続いている」として引き下げた。

8日 街角景気、3ヶ月ぶりに改善

内閣府が発表した3月の景気ウォッチャー調査によると、景気の実感を示す「街角景気」の現状判断指数は前月比0.8ポイント上昇の45.4となり、3ヶ月ぶりに改善した。

11日 2月の機械受注、前月比9.2%減

内閣府が発表した2月の機械受注統計(季節調整値)は、民間設備投資の先行指標となる「船舶・電力を除く民需」の受注額が前月比9.2%減の8,487億円となった。

14日 熊本地震、震度7

21時26分頃、熊本地方を震源とするマグニチュード6.5の地震が発生、熊本県益城町で震度7を観測した。国内で震度7を観測したのは平成23年の東日本大震災以来で九州では初めてとなった。その後強い余震が続くなか、16日1時25分頃に熊本地方でマグニチュード7.3の本震が発生した。熊本県や大分県を中心とした人的被害のほか、建物・橋梁の倒壊、道路の陥没、停電・断水などライフラインへの影響等、被害は広範囲に及んでいる。

20日 3月の貿易収支、前年同月比237.9%増

財務省が発表した3月の貿易統計(通関ベース、速報値)によると、輸出から輸入を差し引いた貿易収支は前年同月比237.9%増の7,550億円となった。

全国の主要経済指標

年次及び月	日証券発行高 (平均残高・億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行貸出約定 平均金利 (年利%)	企業倒産		鉱工業 生産指数 2010年=100	新設住宅 着工戸数 (戸)	公共工事 請負額 (億円)	百貨店・スー パー販売額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)		件数 (件)	負債総額 (億円)				
2010 (H22)	771,516	578,485	420,417	1.551	13,321	71,608	100.0	813,126		195,791
2011 (H23)	792,805	598,668	425,858	1.452	12,734	35,929	97.2	834,117		195,933
2012 (H24)	809,455	613,690	433,823	1.364	12,124	38,346	97.8	882,797	128,456	195,916
2013 (H25)	835,998	640,633	449,134	1.258	10,855	27,823	97.0	980,025	150,536	197,774
2014 (H26)	866,132	660,844	461,147	1.180	9,731	18,741	99.0	892,261	165,257	201,973
2015 (H27)	908,485	679,106	475,937	1.110	8,812	21,124	98.1	909,299	149,257	200,491
2015 (H27) 1	901,357	658,252	458,485	1.179	721	1,681	100.9	67,713	8,722	17,216
2	886,755	661,723	459,627	1.173	692	1,512	98.7	67,552	9,940	14,987
3	892,520	676,336	465,464	1.158	859	2,236	98.2	69,887	20,662	17,151
4	895,381	673,889	460,756	1.157	748	1,928	98.9	75,617	7,535	16,081
5	899,665	678,655	462,447	1.153	724	1,278	96.7	71,720	7,278	16,929
6	896,714	678,820	464,740	1.141	824	1,269	98.3	88,118	15,503	16,413
7	906,796	674,054	465,907	1.137	787	1,201	97.4	78,263	14,321	17,057
8	910,354	673,470	465,905	1.135	632	979	96.7	80,255	13,760	16,056
9	913,980	676,940	470,471	1.125	673	2,709	97.0	77,872	15,225	15,114
10	917,792	673,540	468,785	1.125	742	1,062	98.2	77,153	14,020	16,072
11	924,879	679,175	471,254	1.121	711	1,417	97.1	79,697	10,480	16,490
12	955,628	679,106	475,937	1.110	699	3,854	95.9	75,452	11,811	20,925
2016 (H28) 1	956,932	677,992	475,000	1.108	675	1,269	98.3	67,815	8,547	16,913
2	944,904	687,209	473,374	1.098	723	1,635	93.2	72,831	10,211	14,886
3	951,906				746	1,759	P 96.6	75,744	23,359	P 16,460
前月比 %	0.7	1.4	-0.3	-0.010* イント	3.2	7.6	3.6	4.0	128.8	0.8
前年同月比%	6.7	3.9	3.0	-0.075* イント	-13.2	-21.3	0.1	8.4	13.1	-1.2
資料出所	日本銀行			東京商工リサーチ		経済産業省	国土交通省		経済産業省	

※企業倒産は負債額1千万円以上

※鉱工業生産指数の前年同月比及び年次は原指数による

※百貨店・スーパー販売額(2015.7大型小売店販売額を名称変更)の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

年次及び月	新車登録 届出台数 (乗用車) (千台)	国内企業 物価指数 2010年=100	消費者 物価指数 2010年=100	景気動向 指数 (一致) 2010年=100	完全 失業率 (季節済) (%)	日経平均株価 (東証1部 225銘柄) (円)	国際収支 (経常) (億円)	外貨 準備高 (年月末) (100万ドル)	東京 外為相場 (月平均) (円/US\$)	日経 商品指数 (月末42種) ('70年=100)
2010 (H22)	4,212	100.0	100.0	-	5.1	10,228.92	193,828	1,096,185	87.75	168,232
2011 (H23)	3,525	101.5	99.7	-	4.6	8,455.35	104,013	1,295,841	79.76	165,195
2012 (H24)	4,572	100.6	99.7	-	4.3	10,395.18	47,640	1,268,125	79.79	169,679
2013 (H25)	4,562	101.9	100.0	-	4.0	16,291.31	44,566	1,266,815	97.71	188,334
2014 (H26)	4,699	105.1	102.8	-	3.6	17,450.77	38,805	1,260,548	105.79	183,036
2015 (H27)	4,216	102.7	103.6	-	3.4	19,033.71	164,127	1,233,214	121.09	160,852
2015 (H27) 1	344	103.3	103.1	114.0	3.6	17,674.39	992	1,261,103	118.24	176,003
2	413	103.2	102.9	112.3	3.5	18,797.94	14,873	1,251,112	118.57	177,430
3	587	103.5	103.3	110.9	3.4	19,206.99	27,870	1,245,316	120.39	175,260
4	263	103.6	103.7	113.2	3.3	19,520.01	13,259	1,250,073	119.55	177,106
5	279	103.8	104.0	111.7	3.3	20,563.15	18,536	1,245,755	120.74	178,137
6	365	103.6	103.8	112.9	3.4	20,235.73	5,410	1,242,935	123.75	176,769
7	356	103.2	103.7	112.5	3.3	20,585.24	17,938	1,242,316	123.23	174,461
8	271	102.6	103.9	111.9	3.4	18,890.48	16,249	1,244,150	123.23	169,466
9	400	102.1	103.9	111.4	3.4	17,388.15	14,521	1,248,936	120.22	166,020
10	315	101.4	103.9	112.9	3.1	19,083.10	14,018	1,244,211	120.06	165,098
11	314	101.3	103.5	111.6	3.3	19,747.47	11,059	1,233,008	122.54	163,272
12	308	101.0	103.5	110.7	3.3	19,033.71	9,401	1,233,214	121.84	160,852
2016 (H28) 1	329	100.0	103.0	112.3	3.2	17,518.30	P 5,208	1,248,107	118.25	155,948
2	382	99.7	103.2	110.7	3.3	16,026.76	P 24,349	1,254,149	115.02	154,942
3	532	P 99.6	103.3	P 111.2	3.2	16,758.67	P 29,804	1,262,099	113.07	156,095
前月比%	39.3	-0.1	0.1	0.5ポイント	-0.1* イント	4.6	-	0.6	-1.7	0.7
前年同月比%	-9.3	-3.8	-0.1	-	-0.2* イント	-12.7	6.9	1.3	-6.1	-10.9
資料出所	自販協連合会	日本銀行	総務省	内閣府	総務省	日経新聞社	財務省	日本銀行	日経新聞社	

※日経平均株価は年末、月末の終値ベース

青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		日銀券発行 (-) 還収超 額 (億円)	県内金融機関		企業倒産 (負債額1千万円以上)		毎月勤労統計調査	
	(人)	社会動態 (人) (転入-転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)	現金給与総額 (円)	総実労働時間 (時間)
2010 (H22)	1,380,834	-5,082	-1,062	45,718	26,717	79	28,409	259,231	154.6
2011 (H23)	1,371,440	-3,465	-693	47,408	26,781	73	34,830	254,469	154.8
2012 (H24)	1,361,053	-5,311	-1,287	47,633	26,780	57	52,781	253,142	155.0
2013 (H25)	1,347,650	-5,924	-1,762	48,252	27,298	53	11,199	257,302	154.4
2014 (H26)	1,333,729	-6,269	-1,957	49,114	27,890	66	9,485	254,237	155.1
2015 (H27)	1,319,297	-6,205				52	6,894		
2015 (H27) 1	1,319,297	-166	216	48,591	27,432	4	637	235,821	146.7
2015 (H27) 2	1,318,059	-419	-100	48,708	27,446	5	1,917	218,323	152.1
2015 (H27) 3	1,316,886	-5,353	-158	49,114	27,890	6	1,996	227,174	154.7
2015 (H27) 4	1,310,809	527	-271	49,030	27,513	4	108	223,277	159.6
2015 (H27) 5	1,310,743	-89	-7	49,198	27,552	6	247	217,872	147.9
2015 (H27) 6	1,309,993	-114	-243	49,641	27,560	3	430	334,174	160.5
2015 (H27) 7	1,309,272	-100	-168	48,939	27,665	3	162	263,587	160.7
2015 (H27) 8	1,308,552	-160	-184	49,379	27,681	3	215	229,076	150.1
2015 (H27) 9	1,307,723	-101	-210	49,258	28,098	4	453	214,820	155.1
2015 (H27) 10	1,308,649	-28	-296	49,320	28,072	8	491	215,638	157.1
2015 (H27) 11	1,307,847	-74	-240	49,204	28,069	4	106	224,348	156.0
2015 (H27) 12	1,307,015	-128	-763	49,762	28,402	2	132	405,190	154.5
2016 (H28) 1	1,306,105	-239	186	49,309	28,253	5	356	229,417	143.5
2016 (H28) 2	1,304,978	-320	-281	P 49,042	P 28,274	8	2,655	219,094	151.1
2016 (H28) 3	1,303,776	-5,274				4	1,369		
2016 (H28) 4	1,297,762					3	1,773		
前月比 %	-0.5	-	-	-0.5	0.1	-25.0	29.5	-4.5	5.3
前年同月比%	-1.0	-	-	0.7	3.0	-25.0	1,541.7	0.4	-0.7
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店		東京商工リサーチ		県統計分析課		

※人口の年は1月1日、月は各1日現在、社会動態は年・月中の計数
 ※実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高

※日銀券の年次計数は年度累計
 ※毎月勤労統計調査は事業所規模5人以上を対象

年次及び月	鉱工業 生産指数 (季調済) 2010年=100	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (千平米)	公共工事請負額		新規求人 倍率 (倍)	有効求人 倍率 (倍)
		総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)		(百万円)	うち県分 (百万円)		
2010 (H22)	100.0	4,708	3,138	1,286	534	187,168	57,357	0.67	0.40
2011 (H23)	95.8	4,890	3,051	1,581	518	182,648	54,547	0.80	0.50
2012 (H24)	104.7	5,578	3,286	1,844	582	208,618	55,074	0.96	0.64
2013 (H25)	106.4	6,461	4,193	1,958	632	197,238	60,716	1.14	0.78
2014 (H26)	106.9	5,469	3,387	1,721	575	169,394	58,023	1.16	0.81
2015 (H27)	106.8	5,686	3,336	1,820	586	151,727	58,460		
2015 (H27) 1	109.0	320	116	133	28	5,463	817	1.18	0.85
2015 (H27) 2	106.5	245	96	116	25	6,527	816	1.18	0.86
2015 (H27) 3	111.7	300	200	74	33	8,874	3,641	1.20	0.85
2015 (H27) 4	108.3	582	403	151	64	19,556	5,357	1.27	0.88
2015 (H27) 5	108.6	447	306	116	49	10,789	3,536	1.31	0.92
2015 (H27) 6	105.4	523	353	138	57	17,456	7,541	1.30	0.92
2015 (H27) 7	106.4	608	368	180	64	21,592	7,718	1.23	0.93
2015 (H27) 8	107.0	459	296	133	49	17,562	6,120	1.29	0.93
2015 (H27) 9	105.7	693	392	249	71	17,298	8,906	1.30	0.94
2015 (H27) 10	108.2	502	301	135	53	19,106	7,222	1.29	0.95
2015 (H27) 11	105.7	466	270	144	45	7,657	2,385	1.31	0.96
2015 (H27) 12	99.5	541	235	251	47	5,892	2,673	1.35	0.97
2016 (H28) 1	103.8	216	99	85	20	4,867	1,928	1.57	1.02
2016 (H28) 2	P 113.3	397	128	107	38	3,779	1,377	1.37	1.01
2016 (H28) 3		392	212	135	39	6,905	3,692	1.36	1.03
前月比%	9.2	-1.3	65.6	26.2	2.6	82.7	168.1	-0.01ポイント	0.02ポイント
前年同月比%	6.4	30.7	6.0	82.4	16.4	-22.2	1.4	0.16ポイント	0.18ポイント
資料出所	県統計分析課	県建築住宅課			東日本建設業保証		青森労働局		

※鉱工業生産指数の年次計数および前年同月比は原指数による
 ※公共工事請負額の年次の欄は年度計数

※求人倍率の年次の欄は原数値の年度計数

青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	百貨店・スーパー販売額(百万円)	新車登録台数(台)	乗用車登録届出台数(台)	消費者物価指数 2010年=100 (青森市)	勤労者世帯家計消費支出額 (青森市)(円)	雇用保険		青森県景気ウォッチャー調査 (現状判断DI)	おおぎんBSI
						受給人員(人)	受給金額(百万円)		
2010(H22)	170,306	29,949	42,970	100.0	270,767	-	14,886	-	-
2011(H23)	175,736	26,512	38,137	100.1	287,873	-	14,439	-	-
2012(H24)	181,246	33,496	49,397	99.3	274,133	-	13,070	-	-
2013(H25)	179,920	31,442	49,982	99.6	267,928	-	12,291	-	-
2014(H26)	177,668	31,736	52,046	103.0	259,815	-	11,408	-	-
2015(H27)	172,465	30,680	44,577	103.2	255,240	-	-	-	-
2015(H27) 1	14,553	2,150	3,374	103.3	272,977	11,045	1,717	39.8	} -19.2
2015(H27) 2	13,005	2,545	3,984	102.5	240,985	9,131	1,217	-	
2015(H27) 3	15,106	4,065	6,526	103.1	283,906	7,176	877	-	
2015(H27) 4	13,756	2,570	3,578	103.2	270,812	6,870	855	50.5	} -2.2
2015(H27) 5	14,743	2,053	3,044	103.2	242,091	7,384	862	-	
2015(H27) 6	13,942	2,556	3,735	103.1	211,436	7,583	848	-	
2015(H27) 7	14,111	3,034	4,056	103.4	237,365	7,550	888	53.3	} 5.1
2015(H27) 8	15,437	1,958	2,767	103.4	267,869	7,559	807	-	
2015(H27) 9	12,845	2,913	4,244	103.7	224,094	7,020	814	-	
2015(H27) 10	13,663	2,486	3,283	103.4	264,004	6,288	689	49.3	} 12.0
2015(H27) 11	13,344	2,301	3,240	103.1	262,354	5,984	607	-	
2015(H27) 12	17,960	2,049	2,746	102.9	284,982	6,654	716	-	
2016(H28) 1	14,284	2,033	3,087	102.3	257,619	10,348	1,598	48.5	} 5.1
2016(H28) 2	12,798	2,339	3,616	102.5	231,427	8,307	1,096	-	
2016(H28) 3	P 14,327	4,052	6,056	102.5	269,992	6,673	873	-	
前月(期)比%	-	73.2	67.5	0.0	16.7	-19.7	-20.3	-0.8ホ イト	-6.9ホ イト
前年同月(期)比%	-2.7	-0.3	-7.2	-0.5	-4.9	-7.0	-0.4	-	-
資料出所	東北経産局	自販協連合会青森県支部	県統計分析課	総務省	青森労働局	県統計分析課	青森銀行		

※百貨店・スーパー販売額(2015.7 大型小売店販売額を名称変更)の前年同月比は既存店ベース増減率

※雇用保険の年次の値は年度計数

年次及び月	りんご			漁業 (八戸水産高)		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)	
	出荷量(トン)	市場価格(円/Kg)	産地価格(円/Kg)	数量(トン)	金額(百万円)	輸出(百万円)	輸入(百万円)	輸出(百万円)	輸入(百万円)
2010(H22)	297,566	261	168	119,470	23,405	9,244	24,003	151,688	118,867
2011(H23)	215,428	364	214	121,511	21,044	9,178	29,937	111,720	103,081
2012(H24)	274,892	263	164	112,395	18,670	6,785	29,059	107,146	122,288
2013(H25)	255,696	317	191	97,591	19,672	7,651	35,866	122,070	141,664
2014(H26)	296,117	319	180	120,530	22,969	7,733	34,824	132,609	177,830
2015(H27)				113,359	19,699	5,913	25,041	129,394	192,285
2015(H27) 1	36,964	287	156	2,169	736	593	2,258	14,281	19,335
2015(H27) 2	37,926	286	182	1,816	648	337	2,890	9,245	9,440
2015(H27) 3	37,801	295	205	3,020	1,041	548	1,463	11,700	11,901
2015(H27) 4	31,672	334	292	1,180	485	558	2,651	8,238	19,151
2015(H27) 5	21,934	403	-	797	228	611	1,868	12,407	12,624
2015(H27) 6	13,480	447	-	2,839	748	589	3,130	11,812	14,205
2015(H27) 7	9,465	521	-	10,640	1,409	746	914	10,388	16,376
2015(H27) 8	2,490	523	-	9,654	1,986	488	1,518	12,935	14,644
2015(H27) 9	26,192	258	156	16,410	3,010	400	1,117	8,953	31,328
2015(H27) 10	26,121	280	247	25,200	3,494	476	2,095	12,160	11,829
2015(H27) 11	24,205	289	205	30,676	3,966	241	2,558	12,884	16,806
2015(H27) 12	28,792	332	188	8,958	1,947	326	2,551	4,391	14,633
2016(H28) 1	36,682	310	190	1,819	764	351	1,516	13,934	10,284
2016(H28) 2	36,392	307	198	3,118	997	475	1,052	9,239	12,054
2016(H28) 3	37,231	326	201	3,575	1,067	374	1,787	10,032	8,588
前月比%	2.3	6.2	1.5	14.7	7.0	-21.3	69.9	8.6	-28.8
前年同月比%	-1.5	10.5	-2.0	18.4	2.4	-31.8	21.9	-14.3	-27.6
資料出所	県りんご果樹課			八戸市水産事務所		函館税関、青森支署・八戸支署			

※りんご年次欄はりんご年度の計数

青森県の主要経済指標・各種統計 3

年次及び月	青森県の気象(青森地方気象台)			パスポート 発行件数
	気温 (°C)	降水量(ml)	日照時間(h)	(件)
2015(H27)	11.5	1,003.5	1,737.7	13,301
2015(H27) 2	1.2	45.0	96.4	971
3	4.6	56.5	141.0	1,273
4	9.9	81.0	189.8	858
5	15.1	69.5	255.0	883
6	18.1	57.5	208.0	982
7	22.8	65.0	179.3	1,075
8	23.6	72.0	184.6	1,501
9	19.4	65.0	153.4	1,036
10	12.2	76.5	147.6	1,016
11	8.4	147.5	88.5	1,266
12	3.1	134.5	51.1	1,045
2016(H28) 1	-0.8	148.5	46.8	1,319
2	-0.1	77.0	73.2	1,056
3	4.0	54.0	152.3	1,431
前月比 %	4.1°C	-23.0ml	79.1h	35.5
前年同月比%	-0.6°C	-2.5ml	11.3h	12.4
資料出所	気象庁			外務省

☆県内主要都市・地区各種指標

年次及び月	地区別業況BSI		
	青森地区	津軽地区	県南地区
2014(H26)			
1~3月	9.8	5.7	6.3
4~6月	-13.6	-15.0	-10.5
7~9月	4.7	-24.2	-15.4
10~12月	5.4	-20.0	-10.2
2015(H27)			
1~3月	-31.7	-7.3	-14.3
4~6月	-7.0	6.1	-3.2
7~9月	6.1	15.1	-2.5
10~12月	15.0	12.9	8.4
2016(H28)			
1~3月	1.3	14.8	1.3
4~6月	-14.7	-3.3	-18.2
資料出所	青森銀行BSI(16.4~6月期は見直し)		

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)		
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市
2015(H27) 2	289,946	177,945	232,506	604	334	522	40	98	67
3	289,723	177,715	232,398	1,060	511	728	75	39	74
4	288,212	176,524	231,490	576	238	643	156	70	152
5	288,791	176,923	231,554	494	216	463	103	63	122
6	288,639	176,865	231,485	594	368	525	158	92	98
7	288,408	176,721	231,472	862	314	689	155	72	158
8	288,275	176,726	231,385	446	233	436	125	77	110
9	288,029	176,590	231,337	702	333	605	219	78	165
10	287,622	177,549	231,379	609	260	507	107	74	96
11	287,450	177,503	231,304	516	276	509	78	56	122
12	287,269	177,447	231,208	483	260	431	110	108	117
2016(H28) 1	287,160	177,383	231,098	496	214	415	40	48	66
2	286,952	177,222	231,040	547	258	454	119	136	78
3	286,626	177,015	230,917	1,136	518	671	105	42	143
4	284,815	175,739	230,070						
前月比 %	-0.6	-0.7	-0.4	107.7	100.8	47.8	-11.8	-69.1	83.3
前年同月比%	-1.2	-0.4	-0.6	7.2	1.4	-7.8	40.0	7.7	93.2
資料出所	青森県統計分析課			自販協連合会青森県支部			青森県建築住宅課		

年次及び月	有効求人倍率 職業安定所別			企業倒産					
				青森市		弘前市		八戸市	
	青森	弘前	八戸	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
2015(H27) 2	0.76	0.58	0.83	3	1,833	0	0	0	0
3	0.82	0.64	0.86	1	821	1	250	1	300
4	0.78	0.62	0.81	1	37	1	45	1	16
5	0.85	0.63	0.81	4	144	0	0	1	43
6	0.89	0.61	0.85	0	0	0	0	0	0
7	0.93	0.60	0.90	1	26	0	0	0	0
8	0.97	0.74	1.00	0	0	1	85	1	100
9	1.06	0.88	1.07	1	43	0	0	1	148
10	1.00	0.95	1.02	3	193	2	200	1	28
11	0.99	0.89	1.01	0	0	1	15	0	0
12	0.79	0.59	0.87	0	0	1	35	0	0
2016(H28) 1	0.74	0.53	0.89	2	73	1	27	0	0
2	0.94	0.63	0.97	2	220	1	10	2	2,270
3	1.02	0.69	0.99	1	30	1	724	1	500
4				0	0	1	127	0	0
前月比 %	0.08 ポイント	0.06 ポイント	0.02 ポイント	-100.0	-100.0	0.0	-82.5	-100.0	-100.0
前年同月比%	0.20 ポイント	0.05 ポイント	0.13 ポイント	-100.0	-100.0	0.0	182.2	-100.0	-100.0
資料出所	青森労働局			東京商工リサーチ青森支店					

※有効求人倍率は原数値による